



記者発表資料	
令和4年10月7日	
担当課 (担当)	教育委員会文化財課 (佐々木)
電話	30-8420(内線 7840)

令和の万葉大茶会2022鳥取大会の開催について

万葉集を編さんしたとされる大伴家持ゆかりの地域を繋ぎ、新元号令和の語源となった「梅花の宴」を朗読劇及び茶会に代え再現する、「令和の万葉大茶会」が、令和の万葉大茶会2022鳥取大会実行委員会主催により鳥取市で開催されます。

1 事業の背景・目的

「令和の万葉大茶会」は、2019年に軽井沢で開催された環境サミットでの茶会をきっかけとし、新元号令和の典拠となった万葉集の「梅花の宴」を茶会で再現するもので、万葉集で歌われている日本の美しい四季を未来に残していくためにも、水素エネルギーを利用するなど自然環境の保全を考えた取り組みとしています。

2020年の東京の浜離宮恩賜庭園での開催を皮切りに、昨年は富山県高岡市での開催に市長が出席し、富山県知事から高岡漆器で制作された木簡を手渡され、本年の鳥取市での茶会の開催を引き継ぎました。来年以降、福岡県太宰府市、宮城県多賀城市と家持の国司赴任地をめぐり、最終年は奈良県明日香村で締めくくり、2025年大阪万博に繋げることとしています。

2 鳥取大会の概要

(1) 日 時：令和4年10月15日(土) 13時～

(2) 内 容：①梅花の宴(鳥取市因幡万葉歴史館：鳥取市国府町町屋726)

青翔開智中学校・高等学校の生徒が朗読劇による「梅花の宴」を披露します。

②万葉大茶会(宇倍神社：鳥取市国府町宮下651)

水素燃料電池で沸かしたお湯でお茶を点てます。

伊福部昭氏が作曲した曲が二十五絃箏で演奏されます。

③万葉故地巡り(国史跡因幡国庁跡、市史跡万葉の歌碑)

④式典・講演会・交流会(ホテルニューオータニ鳥取：鳥取市今町二丁目153)

小島ゆかり氏による万葉文化の基調講演や参加市町村のプレゼンテーションなど

(3) 市民参加：梅花の宴は、だれでも自由にご覧いただけます。万葉大茶会と同時に行われる野点によるお茶会は、先着100名まで参加できます。また、梅花の宴が行われる鳥取市因幡万葉歴史館では、先着200名限定で水素エネルギーを利用して調理された万葉食の提供があります。いずれも参加は無料です。

3 鳥取市因幡万葉歴史館で開催される関連行事

(1) 展覧会「憶良と家持」展 10月8日(土)～12月4日(日)

(2) 第23回万葉朗唱の会 10月16日(日)